

安心・安全な生活を支える鳥取県健対協の公衆衛生活動

平成23年度公衆衛生活動対策専門委員会

■ 日 時 平成24年1月12日（木） 午後4時～午後5時20分

■ 場 所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町

■ 出席者 20人

岡本健対協会長、武田委員長

渡辺・吉中・清水・岡田・福永・湯川・吹野・野川・

長谷岡・丸瀬・能勢・尾崎各委員

県健康政策課：大口課長、下田副主幹

県スポーツ健康教育課：清末指導主事

健対協事務局：谷口事務局長、岩垣係長、田中主任

挨拶（要旨）

〈岡本会長〉

県民の健康管理及び健康増進に寄与するための会議ですので、委員の皆様から忌憚のないご意見を頂きたい。

〈武田委員長〉

鳥取県民の健康を守っていく活動は継続が必要であり、将来を見据えた予防対策、健康対策を委員の皆様と一緒に検討していきたい。

報 告

1. 平成22年度事業報告及び平成23年度事業中間報告

（1）健康教育事業：武田委員長より報告

①健康フォーラム

○平成22年9月18日（土）「鳥取大学医学部記念講堂」開催。聴講者351名

「若い人のうつ—いわゆる現代型うつ病をめぐって—」

講師：東京女子医科大学神経精神科

教授 坂元 薫先生

「中高年のうつ—その特徴と正しい理解、地域・職域における自殺予防をめぐって—」

講師：鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野 教授 中込和幸先生

○平成23年10月22日（土）「とりぎん文化会館・小ホール」開催。聴講者278名

「生活習慣病と放射線健康障害—予防医学の立場から—」

講師：鳥取大学 学長 能勢隆之先生

「運動による生活習慣病予防効果と日常生活でできる有効な運動について」

講師：鳥取大学医学部社会医学講座 病態運動学分野 准教授 加藤敏明先生

②日本海新聞健康コラム「保健の窓」を平成22年度は25回、平成23年度は1月現在で20回掲載した。公開健康講座の講演内容について掲載している。

③日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を平成22年度は27回、平成

23年度は1月現在で20回掲載した。

一般の方から疾病に関する質問を受付、それに対する回答を掲載している。

④鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー

毎月1回、鳥取県医師会公開健康講座実施。会場は鳥取県健康会館のほか、倉吉市、米子市内で1回ずつ開催。なお、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」については年12回で、鳥取県医師会公開健康講座のうち6回を生活習慣病セミナーにあて、3地区においても2回ずつ同様のセミナーを実施。

(2) 地域保健対策

平成20年度から「学校検尿における2型糖尿病発生頻度およびフォローアップシステムの研究」を実施。

平成23年度の鳥取県東部地区学童糖尿病検診に於いては、現時点では全ての市町村の集計が揃っていないが、鳥取県東部地区の全ての小学校、中学校で実施され、糖尿病型1名、境界型2名が発見され、早期介入を開始されている。

平成20年度～平成23年度までの4年間に糖尿病型2名（いずれも2型）、境界型6名、合わせて8名の耐糖能異常の方が検診で発見され、このうち境界型として定期follow中に糖尿病に移行した者はいない。

わが国の小児期発症2型糖尿病の年間発見率は学童10万人当たり5～8人とされている。特に中学生では小学生の2倍以上に増加するとされており、境界型から糖尿病型への移行が3年間で30%程度との報告もある。鳥取県東部地区の学校検尿受診者総数は平成22年度実績で小学生13,177名、中学生6,806名、合わせて19,983名。過去5年間で境界型6名から糖尿病への移行がなく、2型糖尿病の発見が2名に留まっているという実績を鑑みると、現在のフォローアップ体制は耐糖能障害の早期発見と進展抑制に寄与している可能性がある。

(3) 生活習慣病対策事業

①地区における健康教育

〈東部医師会（福永委員）〉

1. 東部消防局を会場にして救急医療講習会を年1回開催している。
2. 鳥取市市民健康ひろばにて、健康相談を行った。
3. 東部医師会健康スポーツ講演会を平成22年12月16日に開催し、参加者は32名であった。平成23年度も平成24年1月19日に開催予定である。
4. 各会員による健康教育講演は、平成22年度は96回、平成23年度は12月末で27回行った。

〈中部医師会（湯川委員）〉

1. 「住民健康フォーラム」を平成22年11月21日、『子宮頸がん予防ワクチンの話』をテーマに開催し、参加者は32名であった。また、平成23年度は11月27日に『生活習慣病にならないために血液サラサラをめざして』をテーマに開催し、参加者は87名であった。
2. 各会員による健康教育講演は、平成22年度は27回、平成23年度は23回行う予定である。

〈西部医師会（吹野委員）〉

1. 健康教育講座を平成22年度は米子市内の公民館で30回、境港市で12回行った。平成23年度は1月現在で米子市内の公民館で30回、境港市で15回行った。米子市はメンタルヘルスのテーマが多く実施されている。
2. 中海テレビで医師の出演による「健康プラザ」が放送されている。また、平成22年12月より地区の公民館を会場にして、『「出前講座」上手に医師にかかるには』と題した講演を行っており、1月現在で19回開催されている。『出前講座』の講演内容、資料については、準備委員会で検討を行い、標準的な内容で話をして頂くこととしている。
3. 平成23年度からは毎月第3木曜日に米子市文

化ホールで一般公開健康講座を行っている。
4. 各会員による健康教育講演は、平成22年度は53回、平成23年度は集計中である。

各地区の医師会員が地域、学校において住民のために、それぞれの希望に沿ったテーマで健康教育活動を献身的に多く行われている。

②健康医療相談

鳥取県健康会館において、面談による健康医療相談を毎月第1～4木曜日に行っている。第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科で実施している。

平成22年度は56件、平成23年度は1月現在で33件の相談があった。

以上の事業報告から委員から以下のご意見があった。

- ・鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナーにおいては、より多く受講して頂くには聴講者の興味がわくような演題名の工夫、広報の仕方の検討をして頂きたい。また、倉吉市、米子市内で1回ずつ開催しているが、平成23年度より西部医師会主催の一般公開健康講座を毎月開催され、生活習慣病対策を中心としたテーマで行われているので、鳥取県医師会公開健康講座を西部で行う必要があるか、再検討する必要があると考える。中部においても開催するかどうか同様に検討することとなった。
- ・西部医師会館は現在改修中で、今後は3階講堂で講演会の開催を行う予定である。野坂会長より、テレビ会議システムを活用して鳥取県医師会公開健康講座を西部医師会館で中継して頂きたいという要望を伺っているので、今後検討することとなった。

以上のご意見については、各地区医師会代表の委員を中心に広報の仕方、演題名等について検討をして頂くこととなった。

協 議

1. 平成24年度事業計画（案）：

武田委員長より説明

（1）健康教育事業

- ①健康フォーラムは中部で開催予定。
- ②日本海新聞健康コラム「保健の窓」を年間25回掲載続行予定。
- ③日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を木曜日（月2回～3回）に掲載続行予定。
- ④鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー継続開催。

県健康政策課より平成24年度に行われる①健康フォーラム、②生活習慣病対策セミナー、③日本海新聞健康コラムにおいて、以下のテーマが希望されており、平成24年度立案の際には検討することとなった。

- 1. 各種がん（①、②、③）
- 2. ウイルス肝炎、CKD対策、糖尿病予防対策（②、③）
- 3. 鳥取県禁煙治療費助成事業について、脳脊髄液減少症、麻しん対策（③）

（2）地域保健対策

「学校検尿における2型糖尿病発生頻度およびフォローアップシステムの研究」は、平成20年度から平成23年度までの3年間のとりまとめを行う。その報告書をもとに、問題点、今後の方針、企画書を作成し、東部地区学校検尿委員会で今後この調査を行うかどうかの検討を行い、その結果を踏まえて、平成24年度以降も健対協事業として継続するか検討する。

岡本会長より、継続実施するのであれば、東部地区だけでなく全県下での実施も検討して頂きたいという要望があった。

（3）生活習慣病対策事業

地区医師会の健康教育、健康医療相談を継続実施。